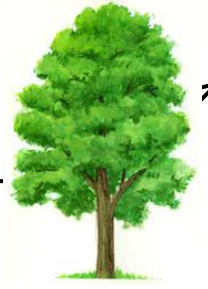




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和4年10月11日(火) No.11 文責 校長 島田 二郎



後期が始まります

今日は後期始業式です。生徒会も第38期生徒会執行部がスタートします。大きな節目を迎えました。どの学年も新たな気持ちで学校生活が充実したものになるように励んでもらいたいと思います。

前期の生活をもし単語で表すならば『知る』『慣れる』だと思えます。新しい環境(学校、学年、学級など)で生活することで、その集団や友達を知り、その環境を知り、慣れるという生活でした。

そこで、後期は、『伸ばす』『高める』『深める』そして『輝かせる』をめざしてほしいと思います。各学年、後期にめざす目標があります。3年生は受験まであと少しとなってきました。自分のめざす進路に向けて、ラストスパートの時期です。学級や学年集団で学習の雰囲気高め、学力向上に取り組みましょう。2年生は、生徒会や部活動等で中心的働きをする立場となります。「**自分達で学校を創る!**」気持ちで活動してほしいと思います。1年生は、中学校がどのような場であるかが分かってきたので、来年度に向けての地盤固めの時期として、学習や生徒会活動、部活動に取り組むことが望まれます。

このように各学年、めざす目標に向かって後期は活躍してほしいと思います。

思いやりと学力向上

後期の活動の柱は、「**生徒会活動にしっかり取り組み、思いやりある集団づくりと学力向上をめざすこと**」です。生徒会活動に取り組むと班や学級、学年などが温かく思いやりがあり、安心・安全な集団となります。集団という基盤が安定すると皆、伸び伸びと活動することができ、人間関係づくりや学力向上など、様々な効果が期待できます。そのためにも生徒会活動は重要な役割を担っています。

ところで、前期の生活アンケートをもとに太宰府西中学校の実態を見てみました。集計結果の一部を紹介します。なお、各数値は肯定的回答の率(4段階評価のうち、「できている」と「ある程度できている」の計)を表しています。(いずれも全国や福岡県と比べほぼ同数です)

《自分自身の生活に関すること》

- ・自分には良いところがある **81%** ・難しいことも失敗を恐れず挑戦している **72%**
- ・将来の夢や目標をもっている **73%** ・人の役に立つ人間になりたいと思う **95%**
- ・学校生活で時間やルール、マナーを守って生活できていますか **97%**

《学習への取り組みに関すること》

- ・授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる **84%**
- ・チャイム前に準備をして、集中して授業に臨む準備をしていますか **93%**
- ・毎日の授業や朝学習、自学ノート等をとおして自分の学力が高まっていると思いますか **77%**
- ・毎日の授業や部活動、学校行事等をとおして、自分自身の健康・体力が向上していると思いますか **89%**

どの項目も数値的にはある程度高いですし、全国や福岡県とほぼ変わらない状況です。太宰府西中学校の生徒は、自分で目的意識をもち、学校生活にしっかりと取り組んでいることがうかがえます。しかし、これからさらに成長するためには、ここからどれだけ数値を上げられるか、がポイントです。太宰府西中学校の生徒はまだまだ伸びしろがたくさんあります。後期はさらに高い目標をもち、そのための取組を充実させ、よりよい学校を創ってほしいと思います。

